

玉井小だより

平成28年5月10日
大玉村立玉井小学校
TEL (48) 3302
発行者 校長 佐藤一男

『笑顔輝け玉っ子』

『フレー フレー 紅組、フレッ フレッ 紅組、ゴー ゴー ゴー。僕らは輝く
太陽のように・・・』

毎朝、教室からは子どもたちの元気な歌声が聞こえてきます。人は、誰かに見守ってもらったり、応援してもらったりしてがんばることができます。でも「ガンバレ！」と誰かのことを思いやったり、応援したりすることで、自分の中に力がわいてくることもあるのかもしれません。そんな意味のことを^{わし だ きよかず}驚田清一という人が新聞に書いていました。

今週の土曜日、14日は運動会です。今年の運動会のスローガンは、5年1組の大内美桜さんが考えた『助け合おう 笑顔輝け玉っ子 がんばる気持ちが1等賞』です。運動会の実行委員の子どもたちが、全校生に応募を呼びかけ、決まりました。緑色に色づいてきた芝生の上で、子どもたちの「助け合う姿」「がんばる姿」そして「輝く笑顔」がたくさん見られることと思います。

今年は、1年生も閉会式まで参加するようにしました。これまでは、お昼で1年生が帰ってしまうと、なんとなく寂しい思いがありました。今年は全校児童294名が最後まで一緒に演技し、応援します。「玉っ子」が一つになれる最高の機会だと考えています。玉井小の新たなチャレンジです。紅組が勝つのか白組が勝つのか、保護者のみなさまと地域のみなさまがたと一緒に、全校生で「成績発表」を迎えたいと思います。

どうぞたくさんの方のみなさまの応援を、お願いします。



【恒例「大玉送り」の練習】

「歩こう会」を終えて

5月2日(月)、「歩こう会」を行いました。少し肌寒い天候でしたが、子どもたちは、周りの田畑や野山を見たり、友だちといろいろなことを話したりしながら歩いていました。6年生は、国道4号の東側の傾城壇古墳まで歩きました。往復で約11キロメートルです。車社会になり、大人も子どもたちも目的地まで自分の足で歩いて行くというようなことは
(裏へ続きます)

少なくなりました。長い距離を歩ききった経験はどこかで自分に対する自信につながると
思います。子どもたちの感想を紹介します。

○ あるこうかい、たのしかったです。お
べんとう、おいしかったよ。かべのぼり、
たのしかったよ。

(1年 渡邊祐伽)

○ きょう、あるこうかいで、おともだち
とごはんをたべたり、おやつのかうかん
をしたりしました。せんせいにも、おや
つをわたしました。

(1年 永田まゆ)

○ 5月2日に「歩こう会」がありました。

まずは二子塚古墳に行きました。山が二つ連なっているように見えました。次に
休けいをはさんで、傾城壇古墳という県で一番古い古墳に行きました。教科書にの
っていた前方後円墳という古墳の形に似ていました。大玉村の良いところを再発見
することができて良かったです。

「歩こう会」のめあてにも「友達の良いところを見つけて、6学年を好きになろ
う」ということがありました。往復10キロ以上あるので、つかれるけど、友達に
「もう少しだよ」などとはげましてもらおうと、がんばれました。友達がいるとはげ
みになるんだなと思い、友達のよさを再発見することができました。

6年間で初の「歩こう会」で、10キロ以上も歩くのは大変だと思っていたけど、
友達と話していると、あっという間でした。10キロは長くて大変だったけど、自
分の足で歩いて大玉村の良いところを見つけられて、楽しかったです。

(6年 後藤ちゆり)



【1. 2年生は屋内運動場でボルダリングに挑戦】



【11kmを歩き切った6年生】

私たち大人は、子どもをかわいいと思う
あまり、つい、疲れないようにとか、転ば
ないようにと考てしまいます。しかし、教
育は疲れたり、転んだりしないようにする
方法を教えるのではなく、疲れても何とか
やりきることを、そして転んだときに立ち
上がることを教えるものだと思います。

これからも様々なチャレンジを通して、
子どもたち一人一人に、未来をたくましく
切り拓いていく「生き抜く力」を育んでい
きたいと考えます。